



100周年

実行委員会が始動

10部門に250人超の態勢

母校創立100周年の記念行事を推進する「100周年記念事業実行委員会」は昨年10月28日夕、同窓会館に百人以上の委員が参加して初会合を開き正式に発足、始動した。これまで

活動してきた準備委員会は発展的に解消。実行委は100周年の日程や事業などを企画立案し、議決する権能を有するため、100周年に向け本格的な活動がスタートしたことになる。

実行委員会は同窓会、学校、PTAの三者で構成、委員長に酒井茂同窓会長を選出した。90周年などの経験から総務、会計、募金、100年史編纂、事業、記念式典、刊行、名簿、美術展各委に加え、今回新たに祝賀会委員会を加えた計10の部門から成る。各委員会には本部役員、顧問、支会長、常設委員会委員、常任理事(重複あり)、各支会と学年別からの推薦者、それに公募に応じた希望者らが配置され、総勢で二百五十人超とこれまで

高 伊那北高等学校同窓会報

発行
伊那北高等学校同窓会
TEL 0265 (72) 7312
FAX 0265 (76) 5585
<http://www16.ocn.ne.jp/~inakita/>
印刷 祐マスマタ印刷

の最大組織になった。この人員は確定的でなく今後の活動が必要となれば追加や各部門間の移動など臨機応変に対応していく方針だ。

組織は一応態勢が整ったのに対し肝心の事業内容はこれからだ。実行委の初会合では会員名簿発行、募金活動、秀作美術展の開催、100年史編纂と映像(DVD)制作などは承認された。懸案の日本フィロ招へいコンサート開催は基本的には交渉に賛成が多数だったが、交渉自体はまだ合意に到っていない。老朽校舎の改築も県教委の高校再編待ちで目途が立っていない。このほか学校通学路の整備や学校標識の設置、各種講演会などさまざまなアイデアが出ているが絞りきれいでない。現役生徒にどういう形で参加してもらおうかも課題の一つである。事業内容の大筋が固まらな

伊那北高等学校同窓会 平成二十九年度 定期総会のご案内

長野県伊那北高等学校同窓会の平成二十九年度定期総会を左記により開催いたします。

記

▼日時 平成二十九年六月十日(土)
午後一時～四時

▼会場 伊那市生涯学習センター 六階ホール
(受付) 十二時三〇分より

▼催物 伊那北高校生による演技・演奏
ダンス部
音楽部合唱班
音楽部弦楽班

▼総会

議題

- (一) 平成二十八年度会務報告
- (二) 平成二十八年度会計決算報告
- (三) 平成二十九年度事業計画審議
- (四) 平成二十九年度予算案審議
- (五) 役員改選

▼懇親会

総会終了後
伊那市生涯学習センター 五階にて

※皆様お誘い合わせて是非ご出席ください。

同窓会会長 酒井 茂

定できない訳だが、残り三年半あると言っても各事業の内容を考えるとそう余裕がない。平成32年秋に祝賀式典が開催されるとして、同31年前半には募金活動を始めなくてはならず(募金活動期間を一年間と想定)、その前提となる会員名簿が必要で、29年初めには発行準備に入らなくてはならない。学校やPTAは28年度末の人事異動を経て、同窓会は今年6月の総会での役員の改選切りを機に事業の骨格を固める作業に入っていくことになりそうだ。